

■ 『大規模土砂災害危機管理訓練』 を平成26年10月22日～23日に実施しました。

近年、各地で大規模土砂災害による甚大な被害が発生しています。このような大規模土砂災害に対応するため、網走開発建設部では大規模土砂災害発生時を想定した、図上演習および現地演習を実施し、災害時の行動内容の確認、調査機材の実技訓練等により、大規模土砂災害発生時の対応力向上を図る取り組みを行いました。

◇訓練には、網走開発建設部職員12名が参加し、地すべり地形が多く見られる湧別川流域の丸瀬布地区を例に

- ・ 網走開発建設部管内での天然ダム等大規模土砂の危険性の認識
- ・ 網走開発建設部が対応すべき緊急調査までのプロセスの確認や緊急調査方法の把握
- ・ 天然ダム対応上の初動体制の課題や関係機関の連携の確認
- ・ 調査機材の実技訓練

等について訓練を実施しました。



【図上演習】



【現地演習】 レーザー距離計による計測



【現地演習】 緊急調査方法の把握